

MANIX REPORT

商品展示とリフォーム提案が充実!

マニックスレポート

LIXILリフォームフェア2015関西を見学してきました



5月の16日、17日にインテックス大阪で開催された、『LIXILリフォームフェア2015関西』

開催初日は、小雨が降るあいにくのお天気でしたが、開場の時間にあわせて大阪や兵庫、京都や滋賀などの関西各地からリフォーム店様や工務店様が招待したお客様を乗せたバスが続々と到着していました。LIXILのスタッフの方に聞くと、両日あわせて約120台のバスが来場予定なのだとか。MANIXからも、計8台のバスと10社の主催店様にご参加いただきました。招待制のイベントということもあり、お客様からは今リフォームの内容を検討しているという声も。カタログやショールームで見るとは違う、スケールの大きさに期待がふくらんでいる様子でした。



コーディネートも参考になる、広々とした空間提案

入り口にある鮮やかなオレンジ色の看板を通り過ぎると、まず目に飛び込んできたのが大きなスクリーンのあるステージ。ここでは、さまざまなライフスタイルを想定したリフォーム提案がいくつかピックアップして紹介されていて、その奥にはリビングやキッチン、お風呂やトイレなど、各部屋のリフォーム後をイメージした11のコーナーがあり、会場内をひとつの家に見立てられるような空間展示が広がっていました。各コーナーの近くには商品の機能説明をしているエリアもあり、収納量の図解やランニングコストの比較などがパネルで展示されているほか、最新機能や使い勝手をスタッフの方が実演してくれます。

実物を見るとスゴイ! 最新素材と最新機能

展示のなかでも多くの人を集めていたのが、キッチンのコーナーにあるダークグレーのアイランド型キッチンです。全体が石からできているようにも見える外観は、ワークトップに最新技術でつくられたセラミック素材が使われていて、焼きものとしての素朴な手触りや光沢を抑えたマットな質感が、今までのキッチンとはひと味違う美しさになっていました。さらにもうひとつ、実物を見て驚いたのが、業界初の採用となる“ツイストスイッチ”を搭載した「スマートコンロ」。鏡面仕上げの黒いガラストップに、丸いマグネットがポンッと置いてあるイメージです。じつは、これがコンロの点火スイッチなのですが、天板の上に置いてスライドさせるだけで点火できるというから不思議。展示品なので、実際に火力調節をすることはできませんでしたが、軽快に操作できる感覚でした。そして、浴室の展示コーナーにもたくさんの人が。なので、遠目からの確認となってしまったのが“アクアタワー”に採用された「打たせ湯」のデモ展示です。浴室の天井に取り付けられた吐水口から粒状の水が断続的に落ちています。修行僧のように立ったまま打たせ湯にあたるのかと思いましたが、浴槽からひとつづきになったカウンターには、ベンチとしても使えるように座面用のクッションが。そこに腰かけてゆったりと打たせ湯を楽しめるとのことでした。

今回のリフォームフェアについて、全てをレポートすることはできませんでしたが、驚きがたくさんありました。そして、バスツアーの企画に参加、ご協力いただきました皆様、ほんとうにありがとうございました。

